



お薬を正しく使用するためには？

【 湿布の効果と種類 】

湿布は痛みを和らげ、炎症を鎮め患部の回復を早めます。

湿布には冷湿布と温湿布があります。それぞれの症状によって使い分けがされます。

なお、皮膚への刺激を避けるため、入浴前後 30 分は貼らないようにしてください。

【 貼るときに注意してください！ 】

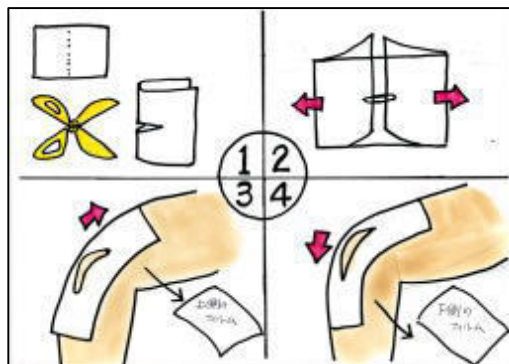
- 汗などをふき、肌をきれいにしてから使うこと。
- 同じところに使いすぎるとかぶれることがあるのでご注意ください。
- 日光にあたるとかぶれがおこる場合もあります。
- かぶれた場合は、治るまで使わないようにしましょう。
- かぶれがひどいときは、医師にご相談してください。



【 湿布の貼り方 ～曲がっている部位へうまく貼るコツ～ 】

ひざや首、肩など、曲がっている部位へうまく貼るコツは、湿布の中心に 2~3 cm の切り込みをいれると貼りやすくなります。

その他の部位でも、伸ばしながら貼ると、うまくフィットします。



貼る回数や部位、使用期間は、医師の指示に従ってください。

コメントなど